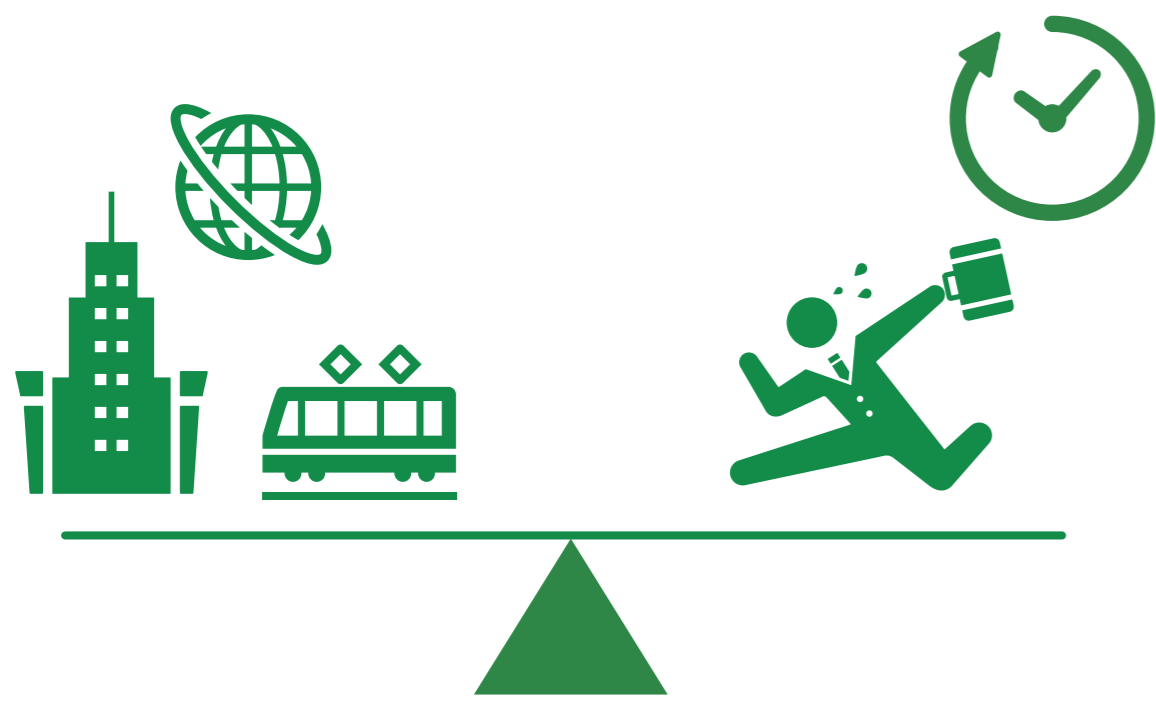


# 都市生活の時間価値が向上するサービスデザイン

## 都市生活の時間価値の現状

### 1. 都市生活は二律背反

都市環境の利便性と過密空間におけるストレスは二律背反の関係にあります。



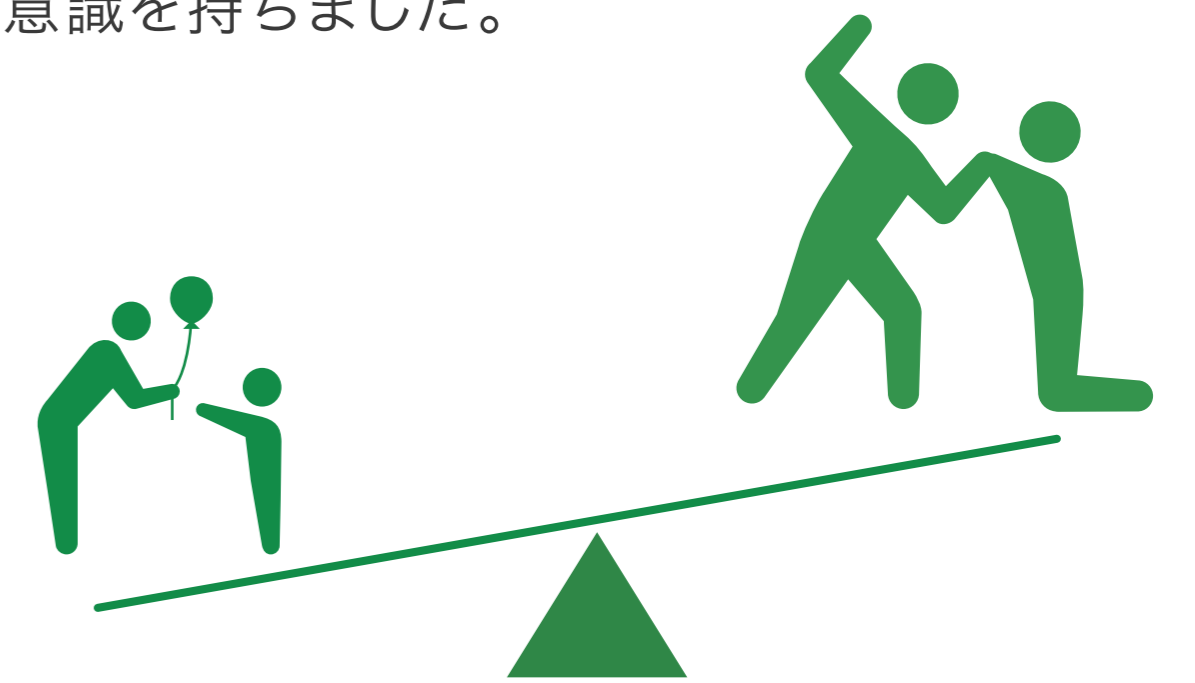
### 2. 常にイライラしている

労働時間と労働収入を最大化するため常に時間に追われ、イライラしています。



### 3. 私たちの問題意識

何気ない親切に対して素直に感謝を示す感覚、周囲でお困りの人がいた際に素直に手を差し伸べる感覚、これらを失っているのではという問題意識を持ちました。



## イノベーションデザインによる問題解決

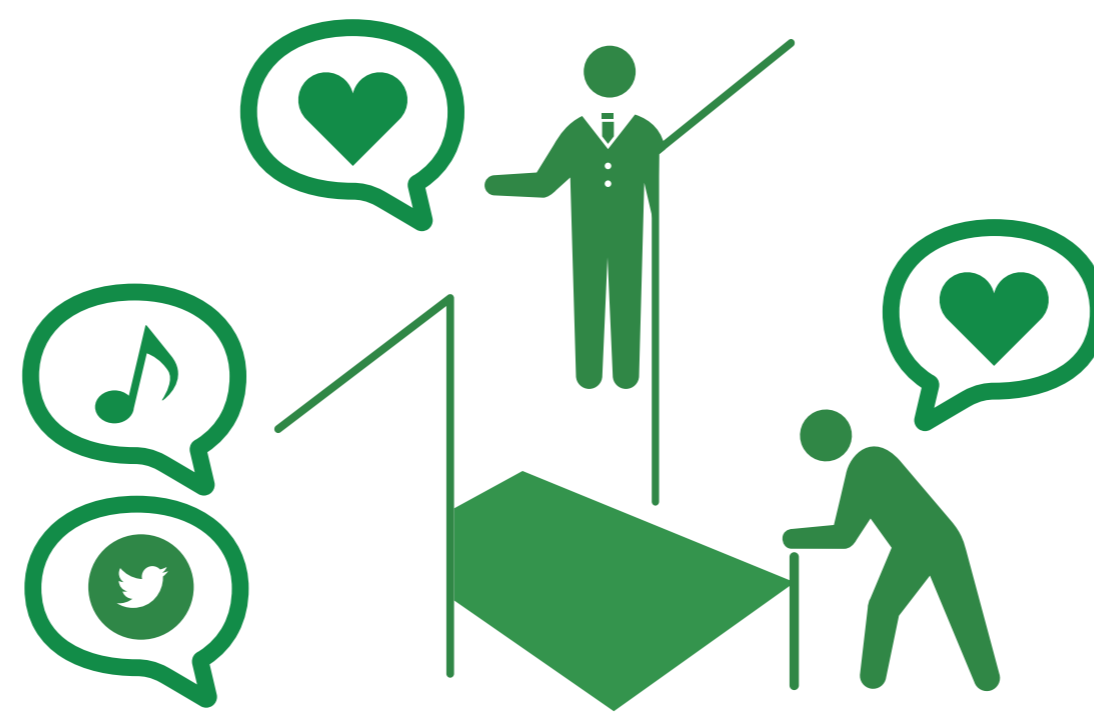
### 4. 無意識の生活行為への着目

都市に関わらず生活者であれば誰もが持つ『道を譲る』という利他的行動から、感情を利得することで得られる時間価値に着目しました。



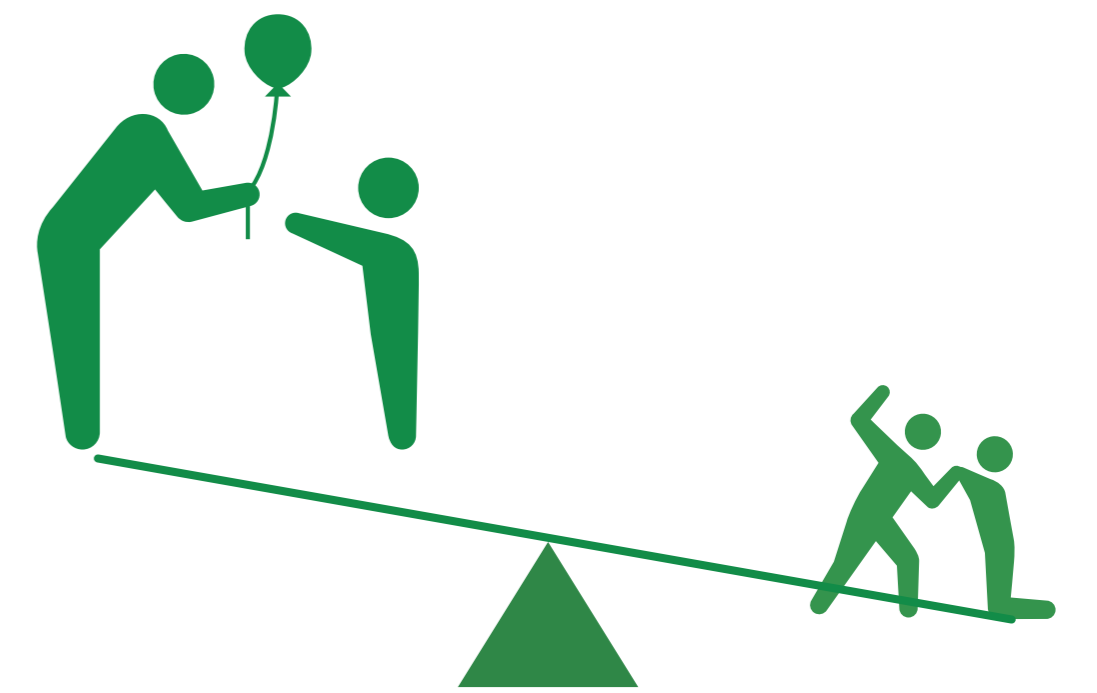
### 5. イノベーションデザインによる問題解決

我々は、都市生活の時間価値を向上する試みとして、感謝を集め、測り、見せ、活用するデザインを考案しました。



### 6. サービスとして得られる時間価値

日常生活時間における都市生活者の事前期待に対し、期待を大きく上回る時間価値をご提供します。



## 譲り合いと感謝のサステナビリティ

### 7. 親切と感謝の拡散

利他的行動による感情利得が様々な空間で発生し公共空間を通じ都市生活者が SNS で繋がることで、感情の利得が持続的に拡散します。



### 8. 感謝の可視化による新たな生活水準

感情の利得状況を可視化し、数量化することで得られた情報は、都市生活における『こころ模様』を映し出す鏡となり、都市生活における新たな生活環境水準になります。



### 9. 生活水準がもたらす新たな動態

親切と感情の利得を通じ、都市生活者が互いに時間価値を交換することは、将来の新たな動態になります。

